

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月6日

上場会社名 株式会社あみやき亭 上場取引所 東 名
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐藤 啓介
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 千々和 康 TEL 0568-32-8800
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	26,137	8.0	1,917	39.5	1,980	38.3	1,188	53.3
2024年3月期第3四半期	24,194	16.3	1,374	—	1,431	382.0	775	—

（注）包括利益 2025年3月期第3四半期 1,188百万円（53.3%） 2024年3月期第3四半期 775百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	57.86	57.85
2024年3月期第3四半期	37.75	—

（注）1. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 2024年3月期第3四半期の営業利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	27,351	21,393	78.2
2024年3月期	27,236	20,894	76.7

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 21,391百万円 2024年3月期 20,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2025年3月期	—	51.00	—		
2025年3月期（予想）				17.00	68.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期及び2025年3月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。2025年3月期（予想）の期末配当金及び年間配当金につきましては、当該株式分割を考慮した配当金の額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年3月期（予想）の期末配当金は51円、年間配当金は102円であります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,400	12.4	2,720	22.4	2,800	21.1	1,650	26.2	80.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮しております。当該株式分割の影響を考慮しない2025年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、240円94銭であります

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	20,546,400株	2024年3月期	20,546,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,530株	2024年3月期	1,443株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	20,544,870株	2024年3月期3Q	20,544,957株

※当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年12月31日まで)におけるわが国経済は、好調な企業業績が設備投資の増加につながる前向きの動きが継続し、各種経済対策の効果もあって、雇用・所得環境が改善するなかで、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国の今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、インバウンド消費額が過去最高となるなかで、需要は引き続き堅調であるものの、物価高騰懸念は根強く、消費者マインドは改善に足踏みが続いております。実質賃金が伸び悩むなか、消費者の経済志向及び健康志向の高まりから、店舗選択や商品選択はより厳しくなっております。また、価格転嫁の動きは進みつつあるものの、エネルギー価格の上昇、人手不足による人件費の上昇、原材料費の高騰等は継続しており、依然として厳しい環境にあります。

このような事業環境のなか、当社グループは主力の焼肉事業において、これまでの和牛バラ肉のパーツ買いがメインでありましたが、高品質かつ赤身志向が強まる中、旨味のある赤身に対応すべく和牛の「一頭買い」を導入することで仕入れの効率化を実現いたしました。

また、部位ごとの特性を熟知した肉のプロがカットすることで、定番部位の商品はもちろんのこと、近年人気が高い赤身の肉、さらには高額で希少な部位等も、おいしさ・鮮度の高い商品としてお手頃な価格で提供することを実現いたしました。

この先は、全国の畜産生産者から直接購入する等仕入れの効率化を更にすすめ、「和牛一頭買い」の仕入れ割合を2割から8割程度に高めるとともに、種類が豊富でお値打ち感ある商品を提供することでお客様の多様なニーズにお応えしてまいります。

今後、当社グループは、「感動の肉と米」を中心に、低価格と高品質のバランスを強みに焼肉事業や焼鳥事業等を含め、関西地方での出店を強化してまいります。加えて、引き続き「事業ポートフォリオ」の最適化を見据えた不採算店舗の業態変更による収益力改善等、成長拡大のための競争力強化策の取り組みを進めてまいります。

店舗数につきましては、8店舗(レストラン事業6店舗、焼鳥事業1店舗、その他事業1店舗)を新規出店し、5店舗(焼肉事業2店舗、レストラン事業3店舗)を業態変更し、9店舗(焼肉事業6店舗、焼鳥事業3店舗)をリニューアルしたほか、9店舗(焼肉事業7店舗、焼鳥事業2店舗)を撤退した結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は285店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26,137百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益1,917百万円(前年同期比39.5%増)、経常利益1,980百万円(前年同期比38.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,188百万円(前年同期比53.3%増)となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、165店舗であります。

内訳は、「あみやき亭」88店舗、「あみやき亭PLUS」7店舗、「どんどん」11店舗、「ほるたん屋」13店舗、「スエヒロ館」20店舗、「かるび家」1店舗、「ブラックホール」4店舗、「ホルモン青木」8店舗、「ホルモンセンター」他12店舗、「百名山」1店舗であります。

以上の結果、焼肉事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,673百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、52店舗であります。

内訳は、「美濃路」37店舗、「みの路」6店舗、「もつしげ」9店舗であります。

以上の結果、焼鳥事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,772百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

<レストラン事業>

レストラン事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、55店舗であります。
内訳は、「感動の肉と米」41店舗、レストラン「スエヒロ館」14店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,513百万円（前年同期比31.8%増）となりました

<その他の事業>

その他事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、13店舗であります。
内訳は、精肉小売店「お肉の工場直売市」1店舗、和牛しゃぶしゃぶ・ステーキ「喜楽」1店舗、しゃぶしゃぶ店「しゃぶ亭ふふふ」2店舗、居酒屋「楽市」2店舗、寿司業態の「すしまみれ」2店舗、ダイニング1店舗、「とりとん」他4店舗であります。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,178百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、27,351百万円となり、前連結会計年度末と比較し、114百万円増加しました。主な要因は建物の増加によるものです。

負債総額は、5,958百万円となり、前連結会計年度末と比較し、383百万円減少いたしました。主な要因は未払法人税等の減少によるものです。

純資産額は、21,393百万円となり、前連結会計年度末と比較し、498百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年4月2日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,677	8,664
預け金	300	524
売掛金	12	12
商品及び製品	98	126
原材料及び貯蔵品	1,402	1,256
未収入金	975	1,035
その他	273	316
流動資産合計	12,740	11,937
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,030	4,925
構築物（純額）	232	321
機械及び装置（純額）	290	325
車両運搬具（純額）	7	8
工具、器具及び備品（純額）	319	299
土地	2,882	3,009
建設仮勘定	42	77
有形固定資産合計	7,805	8,967
無形固定資産		
ソフトウェア	13	12
のれん	2,309	2,158
その他	10	9
無形固定資産合計	2,332	2,181
投資その他の資産		
長期貸付金	493	505
繰延税金資産	1,356	1,205
差入保証金	1,521	1,451
投資不動産	293	291
その他	692	811
投資その他の資産合計	4,357	4,265
固定資産合計	14,496	15,414
資産合計	27,236	27,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,406	1,351
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	125	107
1年内償還予定の社債	45	30
未払金及び未払費用	1,459	1,610
未払法人税等	715	265
契約負債	111	118
賞与引当金	135	91
株主優待引当金	9	18
その他	803	552
流動負債合計	5,110	4,446
固定負債		
社債	30	15
長期借入金	375	305
リース債務	241	614
退職給付に係る負債	8	7
資産除去債務	506	497
その他	69	70
固定負債合計	1,231	1,511
負債合計	6,341	5,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	15,996	16,493
自己株式	△1	△2
株主資本合計	20,894	21,391
新株予約権	—	1
純資産合計	20,894	21,393
負債純資産合計	27,236	27,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	24,194	26,137
売上原価	9,334	10,038
売上総利益	14,859	16,099
販売費及び一般管理費	13,485	14,181
営業利益	1,374	1,917
営業外収益		
受取利息	2	9
受取賃貸料	26	26
協賛金収入	15	8
その他	19	25
営業外収益合計	64	71
営業外費用		
支払利息	2	4
匿名組合投資損失	2	1
不動産賃貸費用	2	2
営業外費用合計	7	8
経常利益	1,431	1,980
特別利益		
固定資産売却益	19	0
受取保険金	0	49
特別利益合計	19	49
特別損失		
固定資産除却損	24	26
減損損失	146	78
その他	6	1
特別損失合計	176	107
税金等調整前四半期純利益	1,274	1,922
法人税、住民税及び事業税	468	582
法人税等調整額	30	151
法人税等合計	499	733
四半期純利益	775	1,188
親会社株主に帰属する四半期純利益	775	1,188

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	775	1,188
四半期包括利益	775	1,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775	1,188

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	焼肉事業	焼鳥事業	レストラン 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	16,410	2,484	4,183	23,078	1,116	24,194
外部顧客への売上高	16,410	2,484	4,183	23,078	1,116	24,194
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,410	2,484	4,183	23,078	1,116	24,194
セグメント利益	1,079	193	207	1,480	32	1,512

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,480
「その他」の区分の利益	32
全社費用(注)	△138
四半期連結損益計算書の営業利益	1,374

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「焼肉事業」、「レストラン事業」及び「その他の事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては146百万円、「焼肉事業」にて69百万円、「レストラン事業」にて45百万円、「その他の事業」にて31百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	焼肉事業	焼鳥事業	レストラン 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	16,673	2,772	5,513	24,959	1,178	26,137
外部顧客への売上高	16,673	2,772	5,513	24,959	1,178	26,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,673	2,772	5,513	24,959	1,178	26,137
セグメント利益	1,325	269	412	2,007	58	2,066

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,007
「その他」の区分の利益	58
全社費用 (注)	△149
四半期連結損益計算書の営業利益	1,917

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「焼肉事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては78百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	601百万円	602百万円
のれんの償却額	119	150